

2023年度 先手必勝 面談振り返り（基礎と評価区分見直し）講座

1級試験の基礎であるシステムティックアプローチを意識し、評価区分を学び直すことで合格面談を可能にする講座					
大阪	2023年8月19日(土)	9:30~16:30	会場：神戸大学 大阪凌霜クラブ 梅田	受講料	会員 15,000円 一般 18,000円 (税込み)
	2023年8月20日(日)	9:15~16:15		受講料	会員 15,000円 一般 18,000円 (税込み)
内容 2日間共通	<p>本講座では、2級検定試験との違いや、「合格するためにすべきこと」と「してはならないこと」など、合格するための方法（あるいは合格できない原因）などについてお伝えし、皆さんの疑問にお答えします。不合格の原因を知る必要があります。</p> <p>不合格の傾向は、自分で用意してきた方法を、相手の意向を置き去りにして、どんどん進めて行くことが考えられ、カウンセリングマインドの欠落が考えられます。</p> <p>技能検定試験は、事例相談者の話を聴き、支援することができる技能を「見える化」して、試験官に評価してもらうことが不可欠です。事例相談者の気持ちに寄り添っていることをどうやって試験官に理解してもらうかを考えます。顔きやあいづちだけではいけません。まずはご自分の強みはより強固に、克服すべき点を明確にするところからスタートします。</p>				
8月19日	<p>1日目で基本を理解し、試験に求められる評価区分（知識やスキル）を学びます。試験官が採点している「評価区分」を理解する必要があります。基本的態度はマナーではありません。</p> <p>試験実施概要の「事例を通して」という意味を理解し、ケースの中のAさんから離れることを理解します。</p>				
8月20日	<p>2日目で30分のロールプレイをシステムティックアプローチのプロセスに沿って評価区分を意識して進めることができます。試験は、評価区分と試験実施概要に示された内容を理解して実践（見える化）し、試験官に評価をしてもらうことで合格します。</p> <p>30分のロールプレイでやるべきことを理解し、試験までに必要な知識やスキルを見直します。多くの人が混乱する試験に登場する、相談者・事例相談者・事例指導者の3人はどんな役割かをおさらいして明確にします。</p>				

受講することで、理解し身につく内容

試験官が採点している評価区分	講座では、4つの評価区分は何を示しているのか正しく理解し、ロールプレイでの実践にどのように反映させると効果的なのかをお伝えします。
不合格者が陥る要因	教える役割の指導者と1級技能士が求められているスキルの違いの混乱や曖昧な知識。 事例相談者への本人が気づいていない面談技法上のスキルに気づきを促す方法が分からず、答えを教えている。
2日間続けてのご受講は理解度や面談スキルの向上が期待できます。	